学校番号	T3017

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「地理Ａ」　（東京書籍）						
副教材等	標準高等地図－地図でよむ現代社会－（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 国際社会における立場と役割を考えさせる。
- 現代世界についての地理的な認識を深める。
- 地理的な見方や考え方を養い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2　学習の到達目標

- 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて考察し，現代世界の地理的認識を養う。
- 地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的諸事象，ないしは現代的諸課題に興味・関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。	地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見出すことができる。	学習に必要とされる様々な資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。	地理的諸事象や地域性，現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識（用語･地名など）や基本的概念（空間，環境，地域）を身に付けている。
評価方法	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 課題研究 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	単元名	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4・5月	地球儀や地図からとらえる世界	1　地球儀と世界地図からとらえる地球 2　日本の位置と領域	○ 	 ○	○ 	 ○	a:地球儀と世界地図から地球に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:国家と領域，日本の領土問題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地球儀やさまざまな図法の地図を収集し，地球上の位置や時差について，有用な情報を読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:地球儀と地図との違い，図法の特色，地球上の位置や時差についての基本的な事柄を理解し，それらの知識を身に付けている。	ノート 作業プリント 春期考査
	結びつく現代世界	1　世界の国家群 2　貿易で結びつく世界 3　交通・通信の発達と世界の一体化 4　観光を軸とした国際的な人々の移動	 ○ ○ 	○ ○ 	 ○	○ ○	a:世界の国家群に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:交通・通信の発達，金融・経済のグローバル化について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:多様化する国際間の人の移動に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:国家群の変化，新しい世界の結びつきについての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	

6・7月	世界的視野から見た自然環境と文化	1 生活の舞台としての地形 2 生活の舞台としての気候 3 生活の様式としての文化 4 生活の基盤としての産業	 ○ ○	 ○ 	○ ○ 	○ ○ ○	a:生活の舞台としての地形に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:文化と社会，民族と文化，言語や宗教と文化について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:農業や工業に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:私たちの生活の基礎を形づくっている文化についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	ノート 作業プリント 夏期考査 課題研究
8・9月	諸地域の生活・文化と環境	1 東アジアの生活・文化と環境 2 東南アジアの生活・文化と環境 3 南アジアの生活・文化と環境 4 西アジア・北アフリカの生活・文化と環境 5 サハラ以南アフリカの生活・文化と環境 6 ヨーロッパの生活・文化と環境 7 ロシアとその周辺諸国の生活・文化と環境 8 北アメリカの生活・文化と環境 9 中部・南アメリカの生活・文化と環境 10 オセアニアの生活・文化と環境	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:各地の生活・文化と環境に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:各地の地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:各地の地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:各地の基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	ノート 作業プリント 秋期考査

10・11月	さまざまな地球的課題	1　世界の資源・エネルギー問題―資源の枯渇の危機 2　世界の人口問題―どれだけの人々が地球に住めるのか 3　世界の食料問題―飽食と飢餓が同居するアンバランスな世界 4　世界の都市問題―人々は快適な都市をつくれるか 5　世界の環境問題―どのようにして地球環境を保全するか	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	a:地図から読み取れる地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:年々深刻さを増す地球的課題について，地図などの資料を用いて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:複雑な地球的課題について，地図などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:地球的課題について，地図などの資料を用いて分析・考察するための基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	ノート 作業プリント 冬期考査
	持続可能な社会の実現をめざして	1　地球的課題をめぐる国際協力 2　地球的解決へ向けての日本の取り組み 3　持続可能な社会の実現へ向けて	○	 ○	○ ○	 ○ ○	a:人類の悲願である持続可能な社会の実現に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:持続可能な社会の実現に向けたさまざまな取り組みについて，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地球的課題をめぐる国際協力，日本の取り組みなどについて，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:21 世紀の地球的課題と持続可能な社会の実現に向けた取り組みについて，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	

	身近な地域と地図題	1　さまざまな地図とその果たす役割 2　地形図から読み取る身近な地域 3　主題図の作成	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:身の回りのさまざまな地図に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:テーマに応じた表現方法やデジタル化に注意をはらいながら，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:多様化する地図表現，情報通信技術を使った新しい地図表現について，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:情報が満載されている地形図の読図について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	
12・1月	自然環境と防災	1　日本列島の自然環境と自然災害 2　日本列島の自然災害と防災	○	○	○	○	a:深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:多発している日本列島の自然災害とその克服について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	ノート 作業プリント 学年末考査

	生活圏の地理的な諸課題と地域調査	1　地域の課題を調べる―地域調査の実施 2　地域調査の事例 3　地域の課題に取り組む	○	○ ○	 ○ ○	 ○	a:さまざまな課題がひそむ身近な地域の調査に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:生活圏の地理的な課題，野外調査の方法について，設定した地域の特色をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地域の特徴に応じたさまざまな課題について，地図や統計・画像などの諸資料から有用な情報を選択し，地理的な見方・考え方を用いて読み解き，高校生にふさわしい社会参画に取り組んでいる。 d:地域の課題を調べる地域調査の方法について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。